

歯科衛生学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
1年	17	解剖学
1年	18～19	生理学
2年	63	保健統計学
3年	128	歯科衛生研究法Ⅱ（臨床応用）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-01				
	●									
科目名	解剖学				単位認定者	鈴木 裕一		評価の方法	試験（筆記）	20 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題 （小テスト）	60 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	解剖学では主に人体の形・構造とその成り立ちを追求する。これは全身の健康や病気を理解する上でその初めとなる重要なステップとなる。本科目では、人体の正常な形・構造を体系的に理解する。また、全身の構造について口腔内の構造との対比の中で理解していく。									
到達目標	解剖学の種類や分類について学び人体の正常な形態と構造について理解する。また、人体を構成する各器官の位置形態および構造を修得し、各系統ごとに整理して理解する。									
学修者への期待等	人体の構造に関する知識は、すべての医学分野の学修において欠く事のできないものといえる。日々の授業の中で十分な理解と共に修得に努めてほしい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 （分）	事後学修時間 （分）
1	総論（解剖学の意義・用語） レポートの書き方				事前学修：教科書1～10ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
2	骨格系①（骨の構造、形態、連結、発生）				事前学修：教科書46～54ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
3	骨格系②（各論）				事前学修：教科書56～63ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
4	筋と運動①（筋の形状・分類、構造と機能）				事前学修：教科書64～70ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
5	筋と運動②（頭部、頸部、背部）				事前学修教科書70～74ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
6	筋と運動③（胸部、腹部、上肢、下肢）				事前学修教科書74～80ページを読んでおくこと。 （概ね20分） 次回の授業時、より理解を深めるために骨格系・筋系の領域について小テストを行う予定。（事前に概ね2時間の学修が必要）				20	120
7	消化器の構造①（上部消化管）				事前学修教科書84～90ページを読んでおくこと。 （概ね30分）＋小テスト				30	0
8	消化器の構造②（下部消化管）				事前学修教科書91～94ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
9	消化器の構造③（肝臓、胆嚢、膵臓）				事前学修教科書94～97ページを読んでおくこと。 （概ね20分）。より理解を深めるために消化器系に関するレポート課題を出す。（図書室、情報処理室で概ね2時間必要となる課題）。				20	120
10	神経系				事前学修教科書179～203ページを読んでおくこと。 （概ね30分）				30	0
11	循環系①（心臓、動脈系）				事前学修教科書121～143ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
12	循環系②（静脈系、リンパ系）				事前学修教科書143～154ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
13	呼吸器系				事前学修教科書213～222ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
14	泌尿器系				事前学修教科書234～238ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				20	0
15	生殖器系				事前学修教科書259～263ページを読んでおくこと。 （概ね20分）				30	0
アクティブ・ラーニング	☑該当なし ☐該当あり：キーワード（ ）									
教科書	『歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	適宜、参考資料を配付する。									
備考	小テストは回収後、採点し、次回総括する。授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。									

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-02				
	●									
科目名	生理学				単位認定者	鈴木 裕一		評価の方法	試験（筆記）	20 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題 (小テスト)	60 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	ヒトの身体は様々な器官や組織から構成されている。これら器官・組織がどのような働きをしているか、また、その働きがどのような仕組みで行われるかを学修するのが生理学である。その仕組みを理解することで、様々な病気の仕組みも理解することが容易になる。									
到達目標	どのようにして生体は一定の状態を保とうとするのか（ホメオスタシス）について、神経系と内分泌系の両面から理解する。									
学修者への期待等	人間の体はさまざまな細胞や臓器からできており、それらが協力して働いている。まずは、全体を大きく把握することからはじめてほしい。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	生理学概論				事前学修：教科書9～10ページを読んでおくこと。				15	0
2	細胞の構造と基本機能				事前学修：教科書14～20ページを読んでおくこと。				20	0
3	血液①（成分と機能）				事前学修：教科書112～117ページを読んでおくこと。				20	0
4	血液②（血液凝固、血液型）				事前学修：教科書118～122ページ読んでおくこと。 次回の授業時、細胞・血液に関する小テストを行う予定。（2時間程度の事前学修が必要）				20	120
5	循環器系（心臓の働き、心電図、血管の機能）				事前学修：小テスト（細胞、血液）実施予定。 教科書127～139ページを読んでおくこと。				20	0
6	呼吸器系（呼吸運動、肺気量、呼吸の調節）				事前学修：教科書222～232ページを読んでおくこと。				20	0
7	筋系（筋の収縮と微細構造、筋電図）				事前学修：教科書65～69、80～83ページを読んでおくこと。				20	0
8	神経系①（基本機能、中枢神経）				事前学修：教科書183～184、191～193ページを読んでおくこと。				20	0
9	神経系②（末梢神経、自律神経）				事前学修：教科書204～232ページを読んでおくこと。				20	0
10	感覚系（感覚の性質と種類、体性感覚、感覚情報の伝達）				事前学修：より理解を深めるために神経-感覚器系に関するレポート課題を出す。（図書室、情報処理室で概ね2時間必要となる課題）なお、提出はUNIPAによる電子投稿を予定している。				30	120
11	消化と吸収				事前学修：教科書97～105ページを読んでおくこと。				20	0
12	排泄（排便・排尿）、体温				事前学修：教科書106～108、238～243ページを読んでおくこと。				20	0
13	内分泌系①(脳下垂体、甲状腺、上皮小体)				事前学修：教科書246～251ページを読んでおくこと。				20	0
14	内分泌系②（膵、副腎、精巣、卵巣）				事前学修：教科書251～256ページを読んでおくこと。				20	0
15	生殖（性周期、受精と妊娠）				事前学修：教科書259～268ページを読んでおくこと。				20	0

アクティブ・ラーニング	☒ 該当なし ☐ 該当あり：キーワード（ ）
教科書	『歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社
参考文献	適宜、参考資料を配付する。
備考	小テスト・レポート課題は回収後、採点し、次回総括する。講義の進行具合によっては、シラバスの授業計画は前後することもある。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-0-HSC-03					
	●										
科目名	保健統計学				単位 認定者	伊藤 恵美		評価 の方法	試験(筆記)	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	10	%
						授業時間数	16 時間		授業内課題 (小テスト等)	20	%
				授業形態	講義	授業回数	8 回				
授業の概要	社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。										
到達目標	1. 保健統計の種類と意義を学修し、わが国の保健統計の変遷及び現状等について理解を深める。 2. 医療の現場で得られる様々なデータを視覚的、数量的にまとめ、有用な情報を抽出するための方法を理解する。										
学修者への期待等	医療の現場における口腔の状況を数量化し、疾病や口腔状態を数量化や指数により数字に置き換えて現状把握や評価できることを期待しています。興味を持って学修してください。										
回	授業計画・学修の主題					準備学修			事前学 修時間 (分)	事後学 修時間 (分)	
1	保健情報と保健統計、国家統計調査、保健情報と疫学					事前学修：教本P 1～35を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
2	保健情報の分析手順（保健情報の収集、調査、母集団と標本抽出）					事前学修：教本P73～88を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
3	保健統計の方法（データの特性、記述統計、推定と信頼区間、保健情報の多変量解析）					事前学修：教本P89～113を読んで授業に臨むこと。 事後学修：次回授業時、保健統計に関する小テストを行う予定。			30	30	
4	保健情報の分析演習（解析と検定の演習） 小テスト					事前学修：教本P114～136ページを読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
5	歯科疾患の指数①数量化と指数②う蝕の指数 計算演習					事前学修：教本P36～44を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
6	歯科疾患の指数③歯周疾患の指数 計算演習 グループワーク					事前学修：教本P45～54を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
7	歯科疾患の指数④口腔清掃状態の指数 計算演習					事前学修：教本P54～60を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
8	歯科疾患の指数⑤不正咬合と歯列不正の指数、⑥歯のフッ素症指数、⑦その他の歯科保健指数 計算演習					事前学修：教本P60～71を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（ 演習、グループワーク ）										
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3 保健情報統計学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社										
参考文献	なし										
備考	小テスト課題は回収後、採点し、次回総括する。										

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング DH-2-RDH-02				
	●									
科目名	歯科衛生研究法Ⅱ（臨床応用）				単位 認定者	伊藤 恵美		評価の方法	試験 （筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	歯科衛生の実践場面で遭遇する問題を自ら解決していくため、3年間で学んだ知識と技術を整理する。「歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）」で整理した、臨床歯科にかかわる基礎的な知識と技術を踏まえて、最新の臨床情報についても学習し、口腔衛生の専門職として活躍できる準備を整える。									
到達目標	3年間で学んだ知識と技術の総まとめを行い、歯科衛生士として必要な総合的能力を修得する。									
学修者への期待等	教科書などによる予習・復習を行い、授業内容を十分に理解することを望む。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	高齢者口腔保健学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	猪狩 洋平	
2	高齢者口腔保健学2（各論のまとめ）						0	0	猪狩 洋平	
3	保存歯科学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	鎌野 優弥	
4	保存歯科学2（各論のまとめ）						0	0	鎌野 優弥	
5	発達歯科学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	丸谷 由里子	
6	発達歯科学2（各論のまとめ）						0	0	丸谷 由里子	
7	病理学（まとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	伊藤 恵美	
8	歯内療法学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	荘司 佳奈子	
9	歯内療法学2（各論のまとめ）						0	0	荘司 佳奈子	
10	歯科補綴学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	佐藤 奈央子	
11	歯科補綴学2（各論のまとめ）						60	0	佐藤 奈央子	
12	歯科矯正学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	志満 雅子	
13	歯科矯正学2（各論のまとめ）						0	0	志満 雅子	
14	歯周療法学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	梶川 哲宏	
15	歯周療法学2（各論のまとめ）						0	0	梶川 哲宏	
アクティブ・ラーニング	☒ 該当なし ☐ 該当あり：キーワード（ ）									
教科書	各科目教科書									
参考文献	適宜プリントを配布する。									
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。									
実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）										
各講師は歯科臨床経験と教育歴があり、各専門分野における総まとめの授業を行います。										